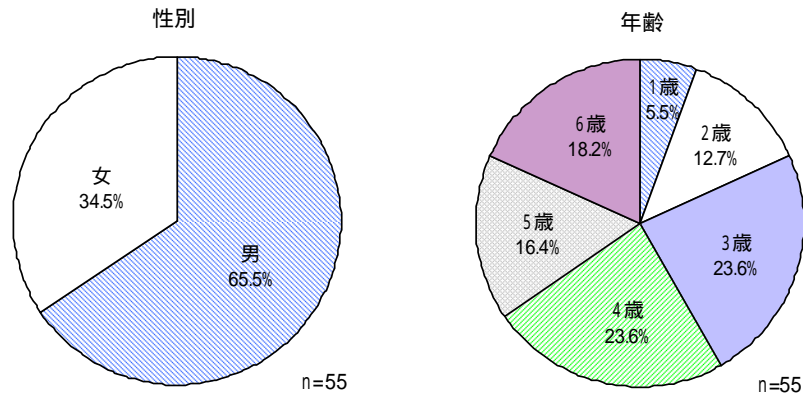


4 就学前障害児調査分析結果

基本属性について

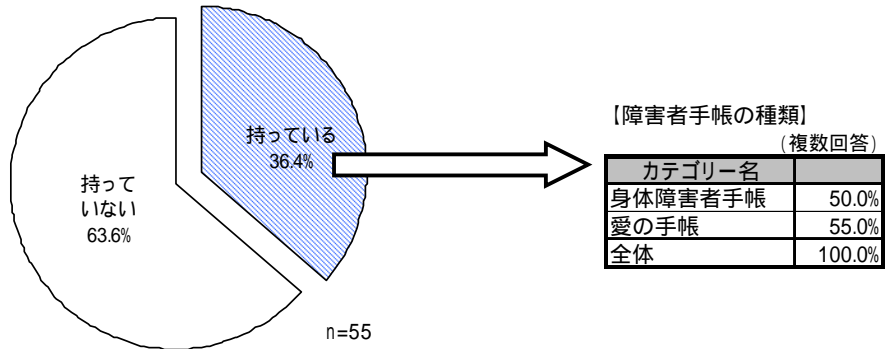
性別、年齢



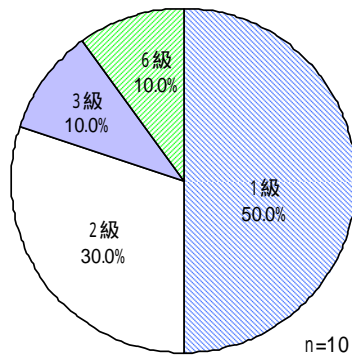
性別では、男児が 65.5%、女児が 34.5%で男児が多かった。
年齢別では、3歳児から6歳児までは、それぞれ約2割の回答となっている。

障害種類、程度

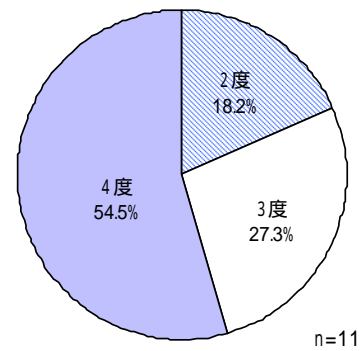
障害者手帳の所持



身体障害者手帳の程度



愛の手帳の程度

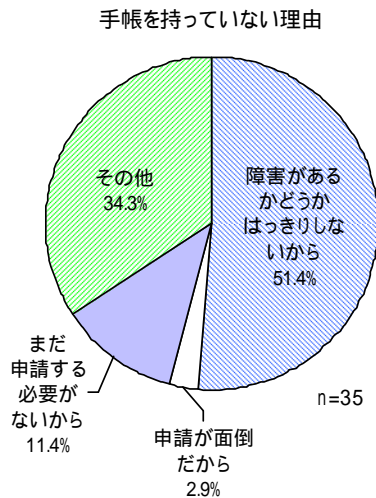


障害者手帳の所持についてたずねたところ、「持っている」が36.4%、「持っていない」が63.6%であった。

所持している手帳の種類では、「身体障害者手帳」、「愛の手帳」をそれぞれ持っている人が半数ずつで、うち1人が両方の手帳を所持していた。

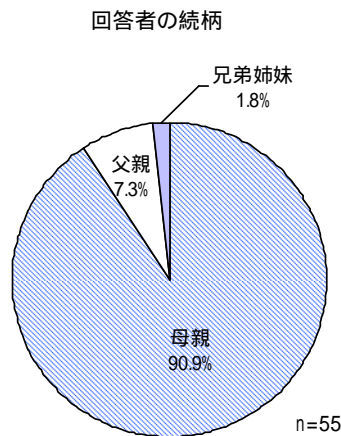
障害の程度でみると、「身体障害者手帳」の程度では、1級が半数を占め、2級が3割と続いている。また、「愛の手帳」では、1度の人はおらず、4度が半数以上を占めている。

手帳を持っていない理由

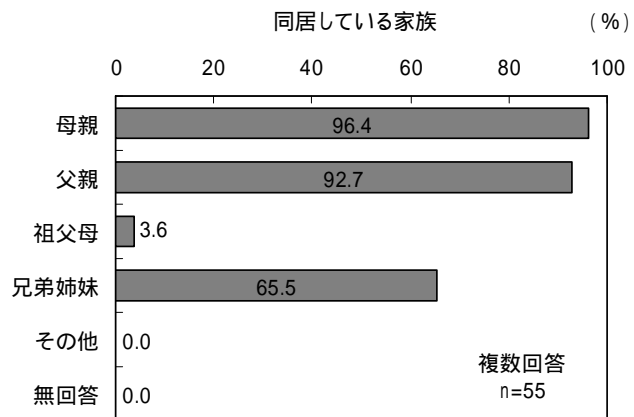


手帳を持っていない人に、その理由をたずねたところ、「障害があるかどうかはっきりしないから」という回答が51.4%だった。また、「まだ、申請する必要があるから」とする割合は、11.4%であった。

回答者の続柄



同居者

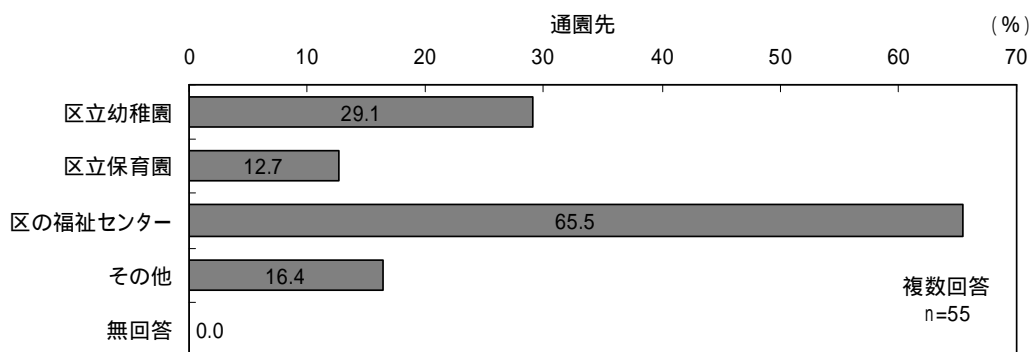


本調査の回答者は、「母親」が9割以上を占めた。

また、同居している家族は、9割以上が「母親」、「父親」という回答であった。

幼稚園・保育園等での生活について

通園先



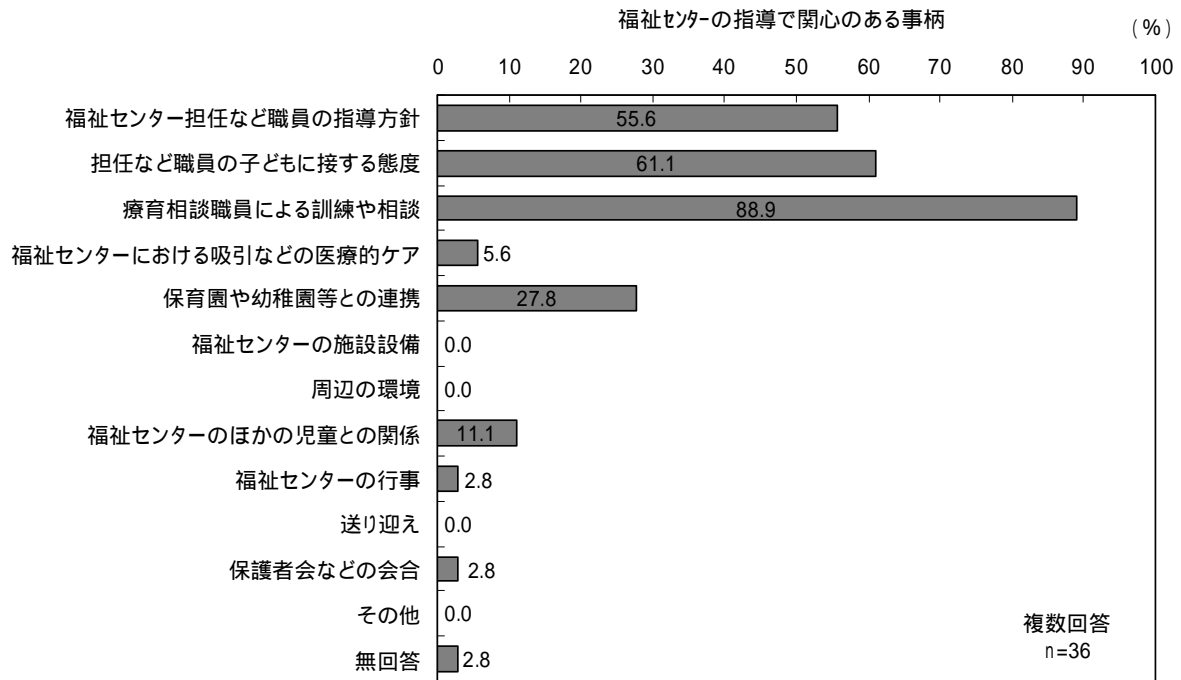
通園先を聞いたところ、「福祉センター」に通っている子どもは6割以上を占めており、「区立幼稚園」が約3割と続いている。

通園先で関心のある事柄（福祉センターのみに通っていない方）

	全体 (人)	通園生活で関心のある事柄									複数回答 (%)	
		教員や 保育士の 指導 方針	教員や 保育士 の子ども に接す る態度	子どもの 学力の 向上	子どもの 生活 能力の 向上	施設設 備など の環境	他の子 どもた ちとの 交流	行事へ の参加	保護者 会など の園の 会合へ の参加	障害に 対する 他の保 護者の 理解	無回答	
合計	30	40.0	66.7	6.7	56.7	6.7	60.0	10.0	0.0	20.0	10.0	
帳 障 の 害 者 持 手	持っている	11	27.3	81.8	9.1	63.6	9.1	45.5	18.2	0.0	36.4	0.0
	持っていない	19	47.4	57.9	5.3	52.6	5.3	68.4	5.3	0.0	10.5	15.8
通 園 先	区立幼稚園	16	37.5	75.0	6.3	75.0	6.3	62.5	18.8	0.0	12.5	0.0
	区立保育園	7	71.4	57.1	14.3	57.1	14.3	57.1	0.0	0.0	28.6	0.0
	福祉センター	11	18.2	72.7	9.1	54.5	9.1	54.5	0.0	0.0	27.3	18.2
	その他	9	22.2	66.7	0.0	33.3	0.0	55.6	0.0	0.0	22.2	33.3

通園先で関心のある事柄について、障害者手帳の所持者でみると、「教員や保育士の子どものに接する態度」、次いで「子どもの生活能力の向上」、「他の子どもたちとの交流」の順になっている。

福祉センターの指導で関心のあること

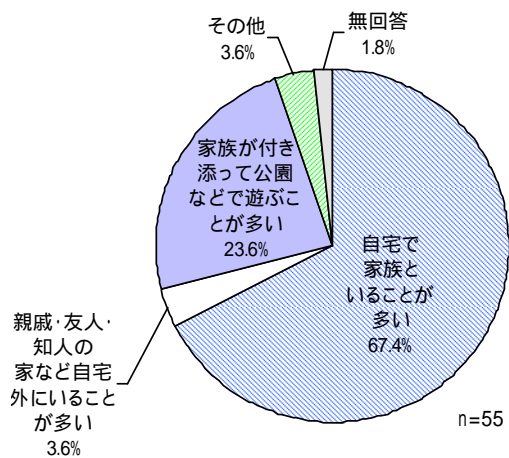


福祉センターに通園している人に福祉センターの指導で関心のあることについてたずねたところ、「療育相談職員による訓練や相談」が9割近くとなっている。続いて「担任など職員の子どもに接する態度」が6割、「担任など職員の指導方針」が5割を超えている。

日常生活について

帰宅後の過ごし方

帰宅後の最も多い過ごし方



帰宅後の過ごし方では、「自宅で家族といることが多い」が67.4%と最も多かった。「家族が付き添って公園などで遊ぶことが多い」が23.6%と次いで多かった。

一時保育できない時の状況

	全体 (人)	一時保育できない時の対処								複数回答 (%)	
		親戚や 知人の 家に 預ける	親戚や 知人に 自宅まで 来て もらう	民間の ベビー シッター を依頼	ファミリー サポート センター を利用	子ども 家庭支援 センター を利用	区の短期 保護事業 を利用	その他	無回答		
合計	55	52.7	41.8	12.7	5.5	1.8	14.5	9.1	3.6		
通園先	区立幼稚園	16	75.0	37.5	12.5	0.0	0.0	31.3	12.5	0.0	
	区立保育園	7	42.9	42.9	0.0	28.6	0.0	14.3	14.3	0.0	
	福祉センター	36	41.7	44.4	16.7	2.8	2.8	16.7	8.3	5.6	
	その他	9	55.6	44.4	11.1	0.0	11.1	11.1	11.1	0.0	

一時保育できない時の状況の対処方法としては、「親戚や知人の家に預ける」が最も多く、次に、「親戚や知人に自宅まで来てもらう」とする回答も多かった。

悩み、不安に思うこと及び支援策について

子育ての悩み

	全体 (人)	子育てにおける悩み、不安なこと														複数回答 (%)		
		子どもの 就学や 進路	子どもの 健康	子どもの 余暇の 過ごし方	子育てへの 家族の 協力	幼稚園・ 保育園・ 福祉セン ターの 指導方針	自分の時 間がどれ ず自由が ない	自分自身 の子ども への 接し方	【お子さん の兄弟 姉妹の 子育て	他の 保護者 との関係	社会から の孤立感	障害への 周囲の 理解	障害に対 する相談 機関がど こかわか らないこと	医療費 などの 経済的 負担	地震など の災害時 の避難	その他	無回答	
合計	55	85.5	47.3	18.2	9.1	25.5	27.3	32.7	29.1	20.0	12.7	36.4	10.9	23.6	7.3	10.9	1.8	
帳 障 の 害 者 持 手	持っている	20	85.0	35.0	25.0	0.0	10.0	45.0	40.0	40.0	10.0	20.0	55.0	10.0	35.0	15.0	25.0	0.0
	持っていない	35	85.7	54.3	14.3	14.3	34.3	17.1	28.6	22.9	25.7	8.6	25.7	11.4	17.1	2.9	2.9	2.9
通園先	区立幼稚園	16	81.3	37.5	25.0	6.3	18.8	31.3	25.0	25.0	6.3	18.8	43.8	6.3	25.0	6.3	25.0	0.0
	区立保育園	7	85.7	57.1	0.0	28.6	14.3	0.0	14.3	57.1	42.9	28.6	28.6	14.3	14.3	0.0	14.3	0.0
	福祉センター	36	83.3	47.2	22.2	5.6	30.6	30.6	36.1	33.3	22.2	5.6	36.1	8.3	27.8	8.3	11.1	2.8
	その他	9	88.9	33.3	22.2	22.2	44.4	33.3	33.3	22.2	33.3	33.3	22.2	22.2	33.3	0.0	0.0	0.0

子育てにおける悩み、不安なことをたずねたところ、「子どもの就学や進路」とする回答が最も多かった。

相談相手

	全体 (人)	子どもについて相談する相手									複数回答 (%)	
		家族	友人・知人	幼稚園・保育園の他の保護者	幼稚園・保育園の園長	幼稚園・保育園の担任	福祉センターの担任や療育相談職員	教育センターの相談員	医師などの医療の専門家	民生委員児童委員	その他	
合計	55	85.5	40.0	20.0	25.5	45.5	69.1	9.1	61.8	0.0	10.9	
障 害 者 持 手	持っている	20	80.0	35.0	15.0	25.0	55.0	65.0	0.0	60.0	0.0	10.0
	持っていない	35	88.6	42.9	22.9	25.7	40.0	71.4	14.3	62.9	0.0	11.4
通 園 先	区立幼稚園	16	93.8	50.0	31.3	50.0	100.0	50.0	18.8	75.0	0.0	12.5
	区立保育園	7	57.1	14.3	42.9	57.1	85.7	57.1	14.3	71.4	0.0	14.3
	福祉センター	36	86.1	38.9	11.1	16.7	22.2	86.1	2.8	55.6	0.0	11.1
	その他	9	77.8	33.3	22.2	22.2	33.3	66.7	11.1	55.6	0.0	22.2

子育ての悩みなどを誰に相談するのかという質問では、「家族」という回答が最も多かった。また、幼稚園、保育園に通園している児童については、「幼稚園・保育園の担任」とする回答が「家族」より高いポイントになっている。

家庭への支援策

	全体 (人)	障害児を持つ家庭への支援策															複数回答 (%)		
		保育士や教員の資質の向上	保育と教育の連携体制の充実	延長保育などの保育サービスの充実	一時預かり保育をしてくれる施策の充実	言語聴覚士など専門家による指導の充実	子どもの個別指導プログラムの作成	子どもの成長・進路についての相談体制・情報の充実	保護者や家族の力への対策	児童虐待への対策	保育教育施設設備の充実	公園や道路などのバリアフリーの推進	犯罪からの安全の確保	地震などの災害時の安全の確保	保健、医療サービスの充実	手当や給付などの経済的支援	在宅施策の充実	その他	
合計	55	47.3	56.4	14.5	29.1	67.3	40.0	70.9	10.9	5.5	23.6	7.3	7.3	9.1	21.8	36.4	5.5	7.3	
障 害 者 持 手	持っている	20	50.0	35.0	25.0	45.0	70.0	35.0	65.0	5.0	0.0	20.0	10.0	10.0	20.0	60.0	10.0	5.0	
	持っていない	35	45.7	68.6	8.6	20.0	65.7	42.9	74.3	14.3	8.6	25.7	5.7	5.7	2.9	22.9	22.9	2.9	8.6
通 園 先	区立幼稚園	16	43.8	62.5	25.0	37.5	62.5	62.5	62.5	6.3	0.0	12.5	0.0	6.3	6.3	12.5	43.8	0.0	12.5
	区立保育園	7	28.6	71.4	0.0	0.0	42.9	42.9	85.7	14.3	14.3	14.3	0.0	28.6	28.6	14.3	42.9	0.0	28.6
	福祉センター	36	50.0	52.8	16.7	33.3	72.2	30.6	69.4	11.1	5.6	30.6	11.1	2.8	8.3	25.0	36.1	8.3	2.8
	その他	9	55.6	55.6	11.1	33.3	88.9	44.4	88.9	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	22.2	33.3	0.0	11.1

障害児を持つ家庭への支援策については、「子どもの成長や進路についての相談体制や情報の充実」とする回答が約7割であった。また、「専門家による指導の充実」では6割を超えている。

発達障害者支援法について

乳幼児の障害早期発見のあり方

	全体 (人)	乳幼児の障害の早期発見のあり方 (%)				
		早期発見体制の充実	現状のままでよい	わからない	その他	
合計	55	47.3	12.7	34.5	5.5	
障害 の 所 者 持 手 帳	持っている	20	60.0	20.0	15.0	5.0
	持っていない	35	40.0	8.6	45.7	5.7
通 園 先	区立幼稚園	16	62.4	12.5	18.8	6.3
	区立保育園	7	42.8	14.3	42.9	0.0
	福祉センター	36	44.5	11.1	36.1	8.3
	その他	9	66.7	11.1	22.2	0.0

乳幼児の障害早期発見のあり方については、「早期発見の体制をもっと充実させるべき」が最も多かった。

入学時の障害早期発見のあり方

	全体 (人)	入学時の障害の早期発見のあり方 (%)					
		入学時健診の充実	現状のままでよい	もっと簡略化すべき	わからない	その他	
合計	55	23.6	23.6	3.6	47.4	1.8	
帳 害 の 所 者 持 手 帳	持っている	20	20.0	40.0	10.0	30.0	0.0
	持っていない	35	25.7	14.3	0.0	57.1	2.9
通 園 先	区立幼稚園	16	18.8	31.3	6.3	43.6	0.0
	区立保育園	7	28.6	42.8	0.0	28.6	0.0
	福祉センター	36	25.0	16.7	5.6	49.9	2.8
	その他	9	22.2	22.2	0.0	44.5	11.1

入学時の障害早期発見のあり方では、「わからない」との回答が5割近くを占めている。

就学前から後の発達支援のあり方

		全体 (人)	就学前から後の発達支援のあり方 (%)				
			個々に応じた 一貫プログラ ムを作り、支援 を行う	保育園・幼稚 園・学校の連 携強化	別個の教育・ 保育を行う	わからない	その他
合計		55	45.4	36.4	7.3	10.9	0.0
障 害 者 持 手	持っている	20	45.0	40.0	10.0	5.0	0.0
	持っていない	35	45.7	34.3	5.7	14.3	0.0
通 園 先	区立幼稚園	16	43.8	56.2	0.0	0.0	0.0
	区立保育園	7	57.1	14.3	0.0	28.6	0.0
	福祉センター	36	44.4	30.6	11.1	13.9	0.0
	その他	9	55.6	33.3	11.1	0.0	0.0

就学前から後の発達支援のあり方では、「個人に応じたプログラム作りとその支援」を要望する回答が最も多かった。

支援を行う際の意思の尊重

		全体 (人)	支援を行う際の意思の尊重について (%)					
			児童や保護者 の意思を第一 に尊重すべき	指導する教員 や学校の意見 を第一に尊重 すべき	医師や臨床心 理士などの専 門家の意見を 第一に尊重 すべき	児童・保護者 と、行政の担 当者や医師な どの専門家が 話し合っ、方 針を決める べき	わからない	その他
合計		55	20.0	1.8	5.5	69.1	1.8	1.8
障 害 者 持 手	持っている	20	20.0	0.0	0.0	75.0	0.0	5.0
	持っていない	35	20.0	2.9	8.6	65.6	2.9	0.0
通 園 先	区立幼稚園	16	18.8	0.0	6.3	68.6	0.0	6.3
	区立保育園	7	0.0	0.0	14.3	85.7	0.0	0.0
	福祉センター	36	19.4	2.8	0.0	75.0	2.8	0.0
	その他	9	55.6	0.0	11.1	33.3	0.0	0.0

支援を行う際、どのような意思を尊重するのかという質問では、「児童・保護者と行政の担当者や専門家と十分に話し合っ、方針を決めるべき」とする回答が約7割を占めている。